

A、
B

平成二十六年年度個別学力検査問題(国際資源学部、教育文化学部)

国
語

前
期
日
程

注
意
事
項

- 一 試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。
- 二 この問題冊子は、六ページあります。解答用紙は一枚です。問題は二題あります。二題すべてに解答しなさい。
試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの乱丁・落丁および解答用紙の汚れ等に気づいた場合は、手を挙げて監督者に知らせなさい。
- 三 監督者の指示に従って、解答用紙に受験番号を記入しなさい。
- 四 解答は、解答用紙の該当欄に記入しなさい。
- 五 配付された解答用紙は、持ち帰ってはいけません。
- 六 試験終了後、問題冊子は持ち帰りなさい。

一 次の文章を読んで、後の問に答えなさい。

本文省略

(池内了『科学の限界』より)

問一 傍線部①「無用の用」としての科学」とはどういうことか、「無用」と「用」の意味を明らかにして説明しなさい。その際、傍線部①のある段落以外の本文の内容に即して答えなさい。

問二 傍線部②「金を通しての科学者と社会の綱引き状態」とはどういうことか、「科学者」「社会」のそれぞれの要求を明らかにして説明しなさい。

問三 本文では二つの意味の「物語」について述べている。それぞれを分かりやすく説明しなさい。

問四 傍線部③「文化としての科学」が豊かになっていくとあるが、豊かになっていくために筆者は何が必要だと考えているか説明しなさい。

問五 傍線部④「科学者は「社会のカナリア」ともいうべき存在である」とはどういうことか、分かりやすく説明しなさい。

問六 傍線部⑤「人間を大切にする科学」とはどのようなものか、筆者が述べる科学者の倫理を含めて分かりやすく説明しなさい。

問七 筆者の主張についてあなたはどうか考えるか、初めに賛否の立場を述べた上で、その理由を本文の言葉を用いながら二〇〇字以内で述べなさい。

— 次の①～⑤のカタカナの語を漢字に直しなさい。

- ① ヨクヨウをつけて朗読する。
- ② それはカンカできない重大な問題だ。
- ③ 二つの力のキンコウがくずれる。
- ④ ザンテイ的な対応をとる。
- ⑤ そのあたりの事情にはウトい。